

公 表 日
平成 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成25年度 矢部川管内内水対策検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川河川事務所長 渡部 秀之 久留米市高野1丁目2番1号
契約年月日	平成25年 7月24日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	20,023,500円(税込み)
予 定 価 格	20,034,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	矢部川水系
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成25年 7月25日
履行期間(至)	平成26年 3月14日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約課程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成25年度 矢部川管内内水対策検討業務
2. 履行場所 矢部川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名2丁目4番12号
会社名：(株)建設技術研究所 九州支社
電 話：(092)714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、矢部川で近年内水被害が発生しているみやま市文広地区ならびに柳川市中島地区における内水被害要因を分析検討し、現有する排水施設などを含めたうえで、将来にわたる費用対効果等を踏まえた最適な内水被害軽減対策の立案検討を図るものである。

2) 業務の内容

本業務については、下記について検討を行うものである。

- ・降雨及び流出解析 1式
- ・外水位曲線の算定 1式
- ・内水解析 1式
- ・内水被害軽減対策検討 1式
- ・概算整備費用の算出 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する2者を技術提案書の提出者として選定したが、内1者が辞退したことにより、1者より技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の実施手順における実施フローの工夫が記載されていること、及び特定テーマの「現有する排水施設を含めた、内水排除計画立案にあたっての留意点」に対する技術提案について与条件との整合性について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

筑後川河川事務所 調査課長